

宇城広域連合エネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事 工事の進捗状況

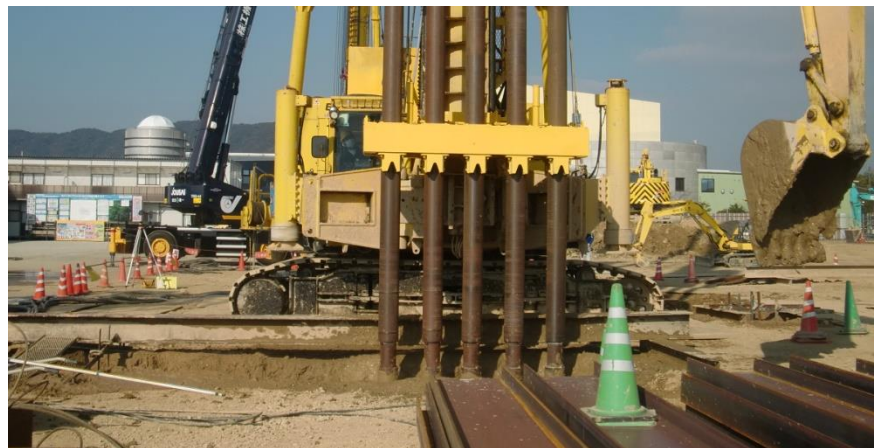
令和4年1月号 Vol.4号



東側から撮影

【地盤改良工事】

管理・焼却棟の地業工事はエコポラム工法を用いて11月下旬から開始し、1月初旬まで2基の機械を使用し、直径2メートル、最大深度25.5メートルの改良体を計296本築造しました。計量棟については1月中に鋼管杭を打設します。



【山留工事】

12月下旬から山留工事（SMW工法）が始まりました。約1か月かけて施工する予定です。“山留工事”とは工事中に周辺の地盤や周囲の建物が崩れてこないように、支えとなる構造物を作る工事のことです。建物を作るとき、基礎工事をするために穴を掘る必要があります。その穴が深くなると土が崩れ、埋もれてしまう危険が生じます。山留工事は土が崩落してくるのを防ぐ目的で行います。